

(別紙4)

## 公立病院改革プランの概要

団 体 名	埼玉県						
プランの名称	埼玉県立病院経営健全化第3次フォローアッププラン						
策 定 日	平成 21 年 3 月 26 日						
対 象 期 間	平成 21 年度 ～ 平成 23 年度						
病院の現状	病院名	埼玉県立精神医療センター					
	所在地	埼玉県北足立郡伊奈町小室818-2					
	病床数	精神病床200床					
	診療科目	精神科、内科、小児科、外科、歯科					
1 公立病院として 今後果たすべき役割(概要) (注)詳細は別紙添付	埼玉県内唯一の公立精神科病院として以下の役割を果たし、地域医療機関との機能分化による役割分担を行いながら、高度で専門的な医療を提供していく。 1 短期の効率的な加療 2 地域の関係諸機関との連携 3 多職種チームの形成 4 医療安全の確保 5 精神科救急の充実 6 個人情報の保護						
2 一般会計における経費負担の 考え方(繰出基準の概要)	行政的な経費 ①看護師養成の経費 ②救急医療の確保のための経費 ③保健衛生行政の経費 公立病院の役割を果たすため能率的な経営を行ってもなお必要と認められる経費 ①基礎年金等に要する経費 ②高度医療に要する経費 ③医師及び看護師等の研究研修に要する経費 ④特殊医療に要する経費 ⑤企業債利息・建設改良に要する経費						
3 経営効率化に係る計画	財務に係る数値目標(主なもの)	19年度 (実績)	20年度 (見込み)	21年度	22年度	23年度	備考
	①経常収支比率	100.0 %	100.0 %	97.8 %	101.6 %	105.8 %	
	①職員給与費対医業収益比率	113.8 %	132.8 %	122.7 %	125.0 %	127.9 %	
	③病床利用率	72.2 %	64.9 %	75.0 %	71.0 %	76.2 %	
	[任意指標]						
	①繰入金を除いた医業収支比率	58.7 %	50.1 %	55.5 %	54.4 %	53.9 %	
	②委託費対医業収益比率	20.7 %	25.0 %	19.8 %	20.3 %	22.7 %	
	②医療材料費対医業収益比率	4.7 %	4.8 %	4.8 %	4.8 %	4.9 %	
	③1日当たり外来患者数	133.6 人	132.5 人	150.0 人	150.0 人	150.0 人	
④流動比率	426.4 %	470.1 %	498.8 %	225.9 %	247.1 %		
上記目標数値設定の考え方	任意項目としては、以下の指標を採用する。 ①収支改善を図る指標として、繰入金を除いた医業収支比率 ②経費削減を図る指標として、委託費医業収支比率、医療材料費対医業収支比率 ③収入確保を図る指標として、1日当たり外来患者数 ④経営の安定性を図る指標として、流動比率 22年度及び23年度は、医療観察法指定入院施設の整備を踏まえて目標数値を設定している。 (経常黒字化の目標年度:平成22年度)						

				団体名 (病院名)	埼玉県 (埼玉県立精神医療センター)		
4 公立病院としての医療機能に係る数値目標(主なもの)	19年度 (実績)	20年度 (見込み)	21年度	22年度	23年度	備考	
	措置・緊急措置・応急入院患者数	124人	126人	128人	129人	130人	年間延べ患者数
	時間外・休日・深夜の受診患者数	381人	386人	391人	396人	400人	年間延べ患者数
	医療観察通院患者数	4人	6人	9人	12人	15人	年間実患者数
	療養個別援助件数	22,301件	22,325件	22,350件	22,375件	22,400件	年間延べ件数
5 経営効率化に係る計画	数値目標達成に向けての具体的な取組及び実施時期	(1) 民間的経営手法の導入	①業務委託で対応できるものについては、委託化を推進する。 ②県立4病院で共同購入する診療材料の対象を増やす。				
		(2) 事業規模・形態の見直し	①平成23年度までに第3病棟(回復期病棟)を廃止するとともに、医療観察病棟を整備する。				
		(3) 経費削減・抑制対策	①経営改善チームにより、経費の削減につながる取組を実施する。 ②業務委託契約手法に長期継続契約を導入し、また、一般競争入札により更なる競争性を高めるなど、医療の質を下げない範囲で委託経費の削減を図る。 ③時間外生化学検査機器の試薬コスト、給食材料の発注、医薬品の購入数量について継続して効率化を図る。 ④廃棄物の分別方法の改善と徹底を図ることにより、廃棄処理代や廃棄用ボックスの費用を削減する。 ⑤電力の一般競争入札を実施し、電気料金のコスト削減を図る。				
		(4) 収入増加・確保対策	①経営改善チームにより、収入の増加につながる取組を実施する。 ②精神科救急入院料・精神科急性期治療病棟入院料・児童思春期精神科入院医療管理加算の施設基準を維持することにより、入院収益の確保を図る。 ③小児科医を採用し、小児入院医療管理料4の施設基準の適用を図る。 ④保険委員会の活用により再審査請求を積極的に行うなど、査定減の縮減を図る。 ⑤診療報酬の請求漏れを防ぐために、院内で診療報酬説明会を開催する。				
		(5) その他	①医師や看護師など優れた医療スタッフを確保するため、医療の環境整備に努める。(認定・専門看護師の養成など) ②「未収金マニュアル」を活用し、簡易裁判所の支払督促制度や債権回収専門会社(サービサー)を活用するなどして、未収金の積極的な回収に努める。 ③病院機能評価の取組を通じて、医療の質の向上を図る。 ④外来投薬の院外処方化を推進する。 ⑤「患者満足度調査」を継続実施し、患者の声を経営に反映させ、患者満足度の向上を図る。 ⑥ホームページによる広報を拡充し、患者への情報提供の充実を図る。				
各年度の収支計画		別紙のとおり					
その他の特記事項	病床利用率の状況	17年度	82.9%	18年度	68.8%	19年度	72.2%
	病床利用率の状況を踏まえた病床数等の抜本見直し、施設の増改築計画の状況等	平成23年度までに第3病棟(回復期病棟)を廃止するとともに、医療観察病棟を整備する。					

団体名 (病院名)	埼玉県 (埼玉県立精神医療センター)
--------------	-----------------------

6 再編・ネットワーク化に係る計画	二次医療圏内の公立病院等配置の現況	埼玉県立精神医療センターが所在する中央(北)保健医療圏には、公立病院等は、埼玉県立がんセンター(400床)、埼玉県立小児医療センター(300床)、埼玉県立総合リハビリセンター(120床)、さいたま市立病院(567床)、さいたま赤十字病院(605床)、埼玉県済生会鴻巣病院(379床)、埼玉社会保険病院(439床)及び社会保険大宮総合病院(163床)が開設されている。 ※ 病床数は「埼玉県病院名簿」(平成21年3月11日時点)より	
	都道府県医療計画等における今後の方向性	埼玉県立精神医療センターは、埼玉県全域を対象として、高度で専門的な保健医療サービスを提供する病院である。	
	再編・ネットワーク化計画の概要及び当該病院における対応計画の概要	<時期> 再編・ネットワーク化の予定はない。	<内容> 埼玉県立精神医療センターは、精神医療分野における高度専門的な病院として、他の医療機関と役割を分担して、緊密な連携を図っていることから、当面はこの体制を大きく見直す状況にはないものと考えている。
7 経営形態見直しに係る計画	経営形態の現況	<input type="checkbox"/> 公営企業法財務適用 <input checked="" type="checkbox"/> 公営企業法全部適用 <input type="checkbox"/> 地方独立行政法人 <input type="checkbox"/> 指定管理者制度 <input type="checkbox"/> 一部事務組合・広域連合	
	経営形態の見直し(検討)の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 公営企業法全部適用 <input checked="" type="checkbox"/> 地方独立行政法人 <input type="checkbox"/> 指定管理者制度 <input type="checkbox"/> 民間譲渡	
	経営形態見直し計画の概要	<時期> 未定  平成21年度中に地方独立行政法人に移行することの是非を検討する。	<内容> ①検討の方向性 先行事例の収支の改善状況を検証 4県立病院の地方独立行政法人化を行う場合、4病院一括あるいは個別病院毎のどちらが有利かを検討 ②検討体制 当面、経営管理課内で検討(専従職員なし) ③検討のスケジュール 平成21年度 先行事例の収支の改善状況を検証 検証結果により移行の是非を判断
8 点検・評価・公表等	点検・評価・公表等の体制	【点検・評価】 埼玉県病院運営協議会を活用 埼玉県病院運営協議会: 県立病院の運営に関し、必要な事項に関する協議を行う組織 委員構成: 埼玉県議会議員など県民代表、埼玉県医師会、埼玉県歯科医師会、埼玉県看護協会及び学識経験を有する者 【公表】 ホームページ等により行う。	
	点検・評価の時期	【点検・評価】毎年1月頃	
その他特記事項		繰入金を除いた医業収支比率などの指標については、埼玉県立精神医療センターと規模や診療内容が類似している自治体立病院との比較、検証を行う。	

(別紙)

団体名 (病院名)	埼玉県 (埼玉県立精神医療センター)
--------------	-----------------------

## 1. 収支計画 (収益的収支)

(単位:百万円、%)  
税込み

区分		年度					
		18年度(実績)	19年度(実績)	20年度(見込)	21年度	22年度	23年度
収	1. 医 業 収 益 a	1,130	1,438	1,268	1,529	1,491	1,655
	(1) 料 金 収 入	1,079	1,384	1,213	1,470	1,432	1,596
	(2) そ の 他	51	54	55	59	59	59
	うち他会計負担金	0	0	0	0	0	0
	2. 医 業 外 収 益	1,429	1,165	1,403	1,242	1,367	1,652
	(1) 他会計負担金・補助金	1,420	1,156	1,394	1,232	1,323	1,278
	(2) 国(県)補助金	0	0	0	0	34	364
	(3) そ の 他	9	9	9	10	10	10
	経 常 収 益 (A)	2,559	2,603	2,671	2,771	2,858	3,307
	入	1. 医 業 費 用 b	2,401	2,450	2,532	2,753	2,739
(1) 職 員 給 与 費 c		1,581	1,636	1,684	1,876	1,864	2,116
(2) 材 料 費		118	110	102	122	118	127
(3) 経 費		476	472	505	529	532	607
(4) 減 価 償 却 費		208	218	212	211	210	204
(5) そ の 他		18	14	29	15	15	15
2. 医 業 外 費 用		158	153	139	80	75	57
(1) 支 払 利 息		121	116	110	52	47	42
(2) そ の 他		37	37	29	28	28	15
経 常 費 用 (B)		2,559	2,603	2,671	2,833	2,814	3,126
経 常 損 益 (A)-(B) (C)	0	0	0	▲ 62	44	181	
特別損益	1. 特 別 利 益 (D)	0	0	0	0	0	0
	2. 特 別 損 失 (E)	0	0	0	0	0	0
	特別損益(D)-(E) (F)	0	0	0	0	0	0
純 損 益 (C)+(F)	0	0	0	▲ 62	44	181	
累 積 欠 損 金 (G)	1,413	1,413	1,413	1,475	1,431	1,250	
不良債務	流 動 資 産 (ア)	669	759	771	848	384	425
	流 動 負 債 (イ)	229	178	164	170	170	172
	うち一時借入金	0	0	0	0	0	0
	翌年度繰越財源(ウ)	0	0	0	0	0	0
	当年度同意等債で未借入 又は未発行の額 (エ)	0	0	0	0	0	0
差引 不 良 債 務 (オ) [(イ)-(エ)]-[(ア)-(ウ)]	▲ 440	▲ 581	▲ 607	▲ 678	▲ 214	▲ 253	
単 年 度 資 金 不 足 額	-	▲ 141	▲ 26	▲ 71	464	▲ 39	
経 常 収 支 比 率 $\frac{(A)}{(B)} \times 100$	100.0%	100.0%	100.0%	97.8%	101.6%	105.8%	
不 良 債 務 比 率 $\frac{(オ)}{a} \times 100$	-38.9%	-40.4%	-47.9%	-44.3%	-14.4%	-15.3%	
医 業 収 支 比 率 $\frac{a}{b} \times 100$	47.1%	58.7%	50.1%	55.5%	54.4%	53.9%	
職 員 給 与 費 対 医 業 収 益 比 率 $\frac{(c)}{(a)} \times 100$	139.9%	113.8%	132.8%	122.7%	125.0%	127.9%	
地方財政法施行令第19条第1項 により算定した資金の不足額 (H)	0	0	0	0	0	0	
地方財政法上の資金不足の割合 $\frac{(H)}{a} \times 100$	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
地方公共団体の財政の健全化に関する法律上の 資金不足比率	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
病 床 利 用 率	68.8%	72.2%	64.9%	75.0%	71.0%	76.2%	

団体名 (病院名)	埼玉県 (埼玉県立精神医療センター)
--------------	-----------------------

2. 収支計画(資本的収支)

(単位:百万円、%)

区分		年度					
		18年度(実績)	19年度(実績)	20年度(見込)	21年度	22年度	23年度
収 入	1. 企業債	0	0	1,015	0	1,000	0
	2. 他会計出資金	0	0	0	0	0	0
	3. 他会計負担金	54	106	109	191	585	180
	4. 他会計借入金	0	0	0	0	0	0
	5. 他会計補助金	0	0	0	0	0	0
	6. 国(県)補助金	0	0	0	108	912	497
	7. その他	0	0	0	0	0	0
	収入計 (a)	54	106	1,124	299	2,497	677
	うち翌年度へ繰り越される 支出の財源充当額 (b)	0	0	0	0	0	0
	前年度許可債で当年度借入分 (c)	0	0	0	0	0	0
純計(a)-{(b)+(c)} (A)	54	106	1,124	299	2,497	677	
支 出	1. 建設改良費	131	70	96	187	989	577
	2. 企業債償還金	84	184	1,205	390	2,130	320
	3. 他会計長期借入金返還金	0	0	0	0	0	0
	4. その他	0	0	0	0	0	0
	支出計 (B)	215	254	1,301	577	3,119	897
差引不足額 (B)-(A) (C)	161	148	177	278	622	220	
補 て ん 財 源	1. 損益勘定留保資金	161	148	177	278	622	220
	2. 利益剰余金処分量	0	0	0	0	0	0
	3. 繰越工事資金	0	0	0	0	0	0
	4. その他	0	0	0	0	0	0
計 (D)	161	148	177	278	622	220	
補てん財源不足額 (C)-(D) (E)	0	0	0	0	0	0	
当年度同意等債で未借入 又は未発行の額 (F)	0	0	0	0	0	0	
実質財源不足額 (E)-(F)	0	0	0	0	0	0	

3. 一般会計等からの繰入金の見通し(平成21年当初予算における繰入れの考え方に基づく試算)

(単位:千円)

	18年度(実績)	19年度(実績)	20年度(見込)	21年度	22年度	23年度
収益的収支	( ) 1,420,496	( ) 1,155,822	( ) 1,393,648	( ) 1,231,634	( ) 1,323,322	( ) 1,278,035
資本的収支	( ) 54,475	( ) 105,540	( ) 108,937	( ) 190,961	( ) 584,743	( ) 180,097
合計	( ) 1,474,971	( ) 1,261,362	( ) 1,502,585	( ) 1,422,595	( ) 1,908,065	( ) 1,458,132

※ 上記1・2・3の20年度見込み額は、平成20年4月から12月までの実績を基にして算出したもの。

公立病院として今後果たすべき役割（精神医療センター）

1 短期の効率的な加療

所期治療の目標を明確にし、短期の効率的な加療を行う。

2 地域の関係諸機関との連携

地域の関係諸機関と連携して早期の社会復帰、社会参加を促進する。退院後は地域の精神科医療機関での治療を原則とする。

県内の行政機関や社会福祉施設、当事者団体を始めとする関係機関に必要な技術的な支援を行う。

臨床研修指定病院として精神科専門医の臨床研修・育成に協力する。

3 多職種チームの形成

多職種によるチームを形成し、円滑な業務の遂行を図る。

4 医療安全の確保

患者の人権を十分に尊重した医療の提供を行い、インフォームド・コンセントを徹底し、医療安全の推進に努める。

5 精神科救急の充実

精神科救急情報センターとの連携により埼玉県における精神科救急の充実に努める。

6 個人情報の保護

患者の皆様安心して医療サービスを受けていただくために、「埼玉県個人情報保護条例」を遵守し、個人情報の適切な管理に努める。